

# 『眼炎症疾患に伴う続発緑内障における線維柱帯切除術の回避に関連する因子の後方視的検討』に関する研究

2018年4月1日から2022年9月30日までに当科眼炎症外来で眼炎症疾患と診断された患者さま

## 研究協力をお願い

日本医科大学多摩永山病院眼科では「眼炎症疾患に伴う続発緑内障における線維柱帯切除術の回避に関連する因子の後方視的検討」という研究を行います。この研究は2018年4月1日から2022年9月30日までに当科眼炎症外来にて眼炎症疾患と診断された患者さまを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：眼炎症疾患に伴う続発緑内障における線維柱帯切除術の回避に関連する因子の後方視的検討  
研究予定期間：倫理委員会承認日～2023年12月31日  
調査対象期間：2018年4月1日～2022年9月30日  
研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 眼科 西尾 侑祐

### (2) 研究の意義、目的について

眼炎症疾患に伴う続発緑内障を対象とした研究の報告数は限られています。本研究では、眼炎症疾患に伴う続発緑内障の患者さまに対する術前の生物学的製剤の使用や免疫抑制剤の内服などの因子が、線維柱帯切除術の回避につながるかどうかを明らかにすることを目的とします。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる情報の種類）

2018年4月1日から2022年9月30日までに日本医科大学多摩永山病院眼科にて、眼炎症疾患と診断された全ての患者さまを対象に、加療内容など下記項目を診療録ベースで解析し、どの項目が線維柱帯切除術の回避に寄与するか検討を行います。この研究は、患者様の以下の情報を用いて行われます。

情報：年齢、性別、眼炎症疾患名、眼炎症疾患に伴う緑内障の有無、炎症タイプ（肉芽腫性、非肉芽腫性）、炎症の局在、視野検査結果、薬剤使用の有無（免疫抑制剤点眼、免疫抑制剤内服、ステロイド内服、生物学的製剤とその種類）、期間内の線維柱帯切除術施行の有無、中心角膜厚、眼軸長

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：眼科 西尾 侑祐  
日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局  
〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1  
電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302  
メールアドレス：[nagayama-chiken\\_center@nms.ac.jp](mailto:nagayama-chiken_center@nms.ac.jp)